

Breakdown of Interbank Market: The Japanese Banking Crisis of 1997-98

大阪経済大学 秋吉 史夫

本研究では、1997-98年の銀行危機における日本のインターバンク市場を分析した。危機前においては、各銀行の健全性とインターバンク市場からの借入額との間に有意な関係が観察された。しかし危機時においては、両者の間に有意な関係はほとんど観察されなかった。また危機時において各銀行のインターバンク市場からの借入額は減少したが、その減少は、銀行の財務状況やマクロ変数の変化では十分に説明できない異常なものであったことを示す証拠が得られた。これらの実証結果は、危機時に混乱に陥ったインターバンク市場が、銀行間の効率的な資金配分を十分に行えなかったことを示唆するものである。